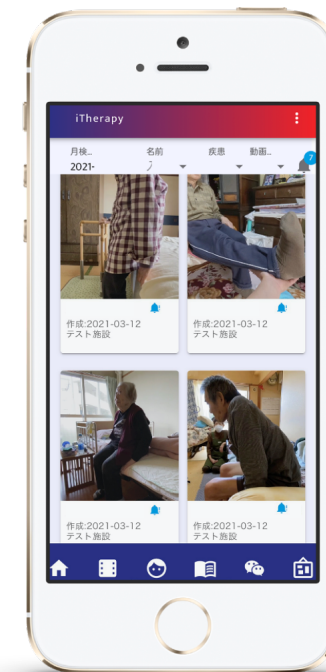
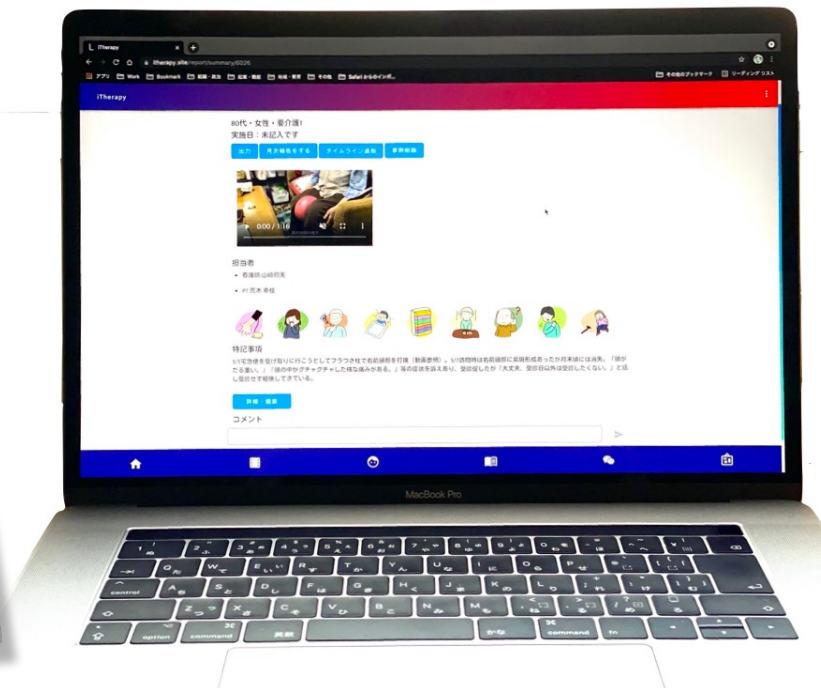


介護の現場に「自立支援のコツ」を届けたい。

iTherapy（アイセラピー）は、**動画とコード**で「視覚的」に自立支援介護のノウハウを共有して、介護現場に従事する専門職間の**助言コミュニケーション**を円滑にする、ICTを活用した新しい「介護技術」です。



iTherapy





動画で現場を「見えるケア」

介護の現場は、利用者の方々の日々の状態変化が最も価値ある情報です。
iTherapyの登録を済ませたら介護現場を撮影します。撮影するのは「その人らしい暮らし」の場面。動画は10～30秒程度でOK。動画を撮影したら、その動画を基に生活の課題をコードで分析していきます。



iTherapy



POINT
2

自立支援介護のコツをコードで共有

25年の介護現場経験を基に、看護・リハビリ・介護の視点で分類した生活機能を分析する項目を140項目のコード（iTherapyコード）にして実装しています。現場のアセスメントは、撮影した動画を見て必要なコードを選ぶだけ。AIがコードに対応した助言コメントを選択を支援します。



- ✓ **判断力がやや低下している状態に注**意。ベッドから起きて、自分で車椅子に乗時などに、周囲の状況が十分に理解な動作や行為にならない様に見守り
- ✓ **車椅子から出来る動作を活かしまし**手すりがあれば立てます。車椅子に乗足の力を意識し、動作が自分で出来て、介助量が最小限になる様に工
- ✓ **寝起きの動作も本人の力を上手く使**寝返りをする、起き上がるなども、出来る様に声かけしましょう。できる動など、リハビリを意識した介助の仕方を



POINT
3

円滑な**助言**コミュニケーション

iTherapyは、動画とコードで「視覚的」に自立支援介護のノウハウを共有し、介護従事者間の情報連携を円滑にします。外部専門職の助言を想定した「チャット」や「掲示板」の機能も実装しており、リアルタイムコミュニケーションで介護の現場に「やりがい」と「笑顔」を届けます。



iTherapy



介護職員



動画
助言



相談
評価



リハビリ職員

